

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院総合周産期母子医療センター看護部で実施している研究へご協力の
お願い

1. 研究課題名

骨盤形態が分娩に及ぼす影響

2. 対象となる方

2019年1月～2020年12月に当院総合周産期母子医療センターで誘発分娩を受けられた
患者さん、357名

3. 研究の目的

誘発分娩の骨盤計測を情報収集し、狭骨盤の有無、またそれにおける分娩への影響とそ
の要因を明らかにすることを目的としています。本研究は、分娩状況を予測しやすくし、
緊急帝王切開への事態をできるだけ避けるためのケアを考察することで、分娩時のケア
の質の向上に繋がると考えています。

4. 研究期間

2022年7月（倫理審査委員会承認後）～2022年12月31日（予定）

5. 研究に使用する情報の種類

診療情報等：年齢、初産・経産、身長、体重、BMI、不妊治療の有無、誘発予定の骨盤
計測値(産科的真結合線、骨盤峡部径、棘間径)、胎児のBPD、狭骨盤の有無、分娩状況
〔分娩時間(第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期)、出血量、破水時間、回旋異常の有無、微弱陣痛の
有無、分娩停止の有無、吸引分娩の有無、緊急帝王切開の有無〕、胎盤の重さ、臍帯の
長さ、臍帯巻絡の有無、児の体重・頭位、臍帯血のPH

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院 総合周産期母子医療センター 看護師 佐藤 真子

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院 総合周産期母子医療センター 佐藤 真子